

発明の名称: デブロモラウリンテロールからなる香料

無料開放特許

利用・用途・応用分野

マリンノート香料。香料(フラグランス)や食品香料(フレーバー)として、化粧品(化粧水、乳液、クリーム等)、及び、飲食品(果汁飲料、乳飲料、粉末飲料、錠菓、スナック類、水産加工食品、調味料、粉末スープ、インスタントラーメン、健康食品等)に添加して利用。

目的・課題

マリンノート香料の多くは化学合成品であり、使用態様に制限され、環境に優しい香料ということができない。
使用態様に制限されることなく、環境に優しい新たなマリンノート香料の開発が望まれている。

解決ポイント

山口県沿岸で採取した紅藻フジマツモ科ソゾ属の海藻の抽出物からマリンノート香料であるデブロモラウリンテロールを得た。身近に存在する安価な原料から簡単な方法で効率よく製造できる極めて実用的な香料である。

研究概要・アピールポイント

マリンノート香料海藻様、磯様、潮様の匂いを持ち、海を強く想起できる香料である。

【試験例1】デブロモラウリンテロール50mgを溶媒ペンタン1mLに溶解し、ろ紙先端に溶液50μLを塗布、匂いを嗅いで評価基準により官能評価した。パネラー: 10名

【評価基準】 3: 海を強く想起させる 2: 海を想起させる 1: 海を想起させない

官能評価結果

	評価結果	特記事項
実施例 1	2. 6	磯様、海藻様の匂いがした。リラックスできた
対照例	1	なし

【試験例2】デブロモラウリンテロールのエタノール溶液1mLを浴槽に加え入浴し、匂いを試験例1と同じ評価基準で官能評価した。対照として、デブロモラウリンテロールを加えず、それ以外は試験例と同様に入浴し官能評価した。パネラー: 7名

官能評価結果

	評価結果	特記事項
実施例 1	2. 6	磯様、海藻様の匂いがした。リラックスできた
対照例	1	なし

◆ お問い合わせ先 ◆

有限会社山口ティール・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail: tlojim@yamaguchi-u.ac.jp